



新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.2.0)

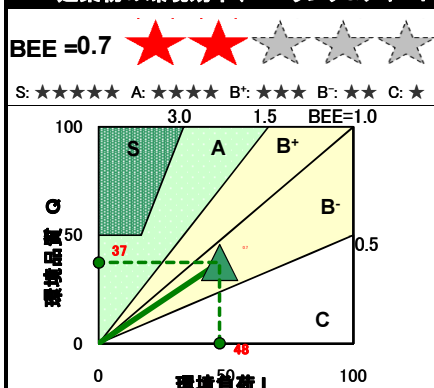
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)阪急オアシス山科店	階数	地上 2F
建設地	京都府 京都市 山科区 柳辻西漬 2F	構造	S造
用途地域	第2種住居地域、第1種住居地域、	平均居住人員	0 人
気候区分	地域区分 V	年間使用時間	0 時間/年
建物用途	物販店、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年2月 予定	評価の実施日	2008年7月8日
敷地面積	3,761 m ²	作成者	
建築面積	2,255 m ²	確認日	2008年7月10日
延床面積	2,386 m ²	確認者	

外観パース等

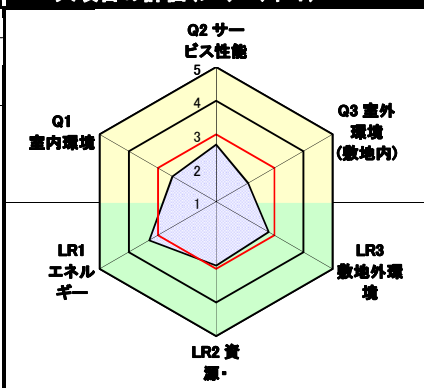
図を貼り付けるときは

シートの保護を解除してください

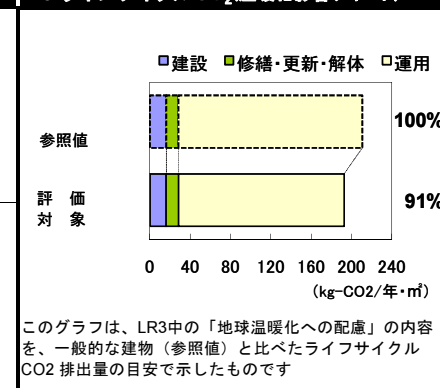
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



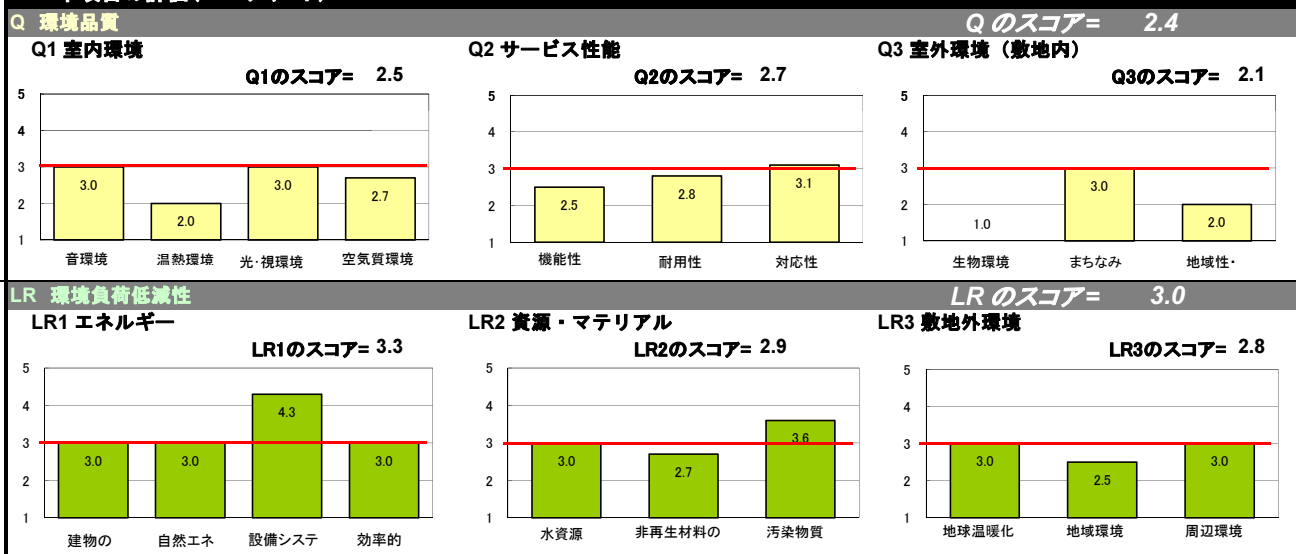
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 計画地周辺は住宅、畑、でくうる限り隣地境界よりの壁面距離を確保。		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 化学汚染物質対策により内装仕上材はほぼ全面F☆☆☆☆を使用。	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 バリアフリー新法による建築物移動等円滑化基準を満たしている。	注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 建築物高さは、周辺既存建物と同程度。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 エネルギーの使用の合理化に関する法律に基づき計画。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。 計画地内に十分な駐車、駐輪台数の確保、駐車場出入部に十分な待機スペースを確保。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Building Environmental Efficiency (建築物総合環境性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される